様 ご担当医御侍史

大田区こども未来部 保育サービス課長

平素から、大田区立保育園の運営にご協力とご配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

児童福祉法の一部改正に伴い新設された児童福祉法第56条の6第2項、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律(令和3年法律第81号)の規定により、大田区立保育園において医療的ケアを実施していきます。つきましては<u>年度</u>受け入れ基準は、以下のように取り決めますので、ご理解のほどよろしくお願い申しあげます。

- (1) 疾患があるものの入院して治療する必要がなく、容態が安定していること。
- (2) 医療的ケアが日常生活の一部として定着している児童又は今後定着する見込みのある児童であって、その 行為によって状態の変化が起こりにくいと主治医が判断していること。
- (3) 以下①~③に該当する場合は、意見書にて児童が集団保育を行うことが望ましい旨をご記載いただいて も、保育を不可としております。また、入所後、以下の状態となったときも、保育の継続ができず、休園 または退園となります。
 - ① 日常的に他児から隔離した場で保育を必要とする場合
 - ② 看護師が連続的な容態の観察や処置が必要である場合 (概ね1時間以内に1回以上の観察や処置が必要な場合)
 - ③ 状態の変化などによって、集団生活に著しく影響があると主治医あるいは大田区医療的ケアを必要とする 児童の保育の実施等審査会(以下、「審査会」という。)が判定した場合
- (4) ケアの実施は以下のとおりとします。
 - ① 痰吸引 ② 吸入(ネブライザー): 痰吸引を要する児のみ、吸入の指示を受け入れる
 - ③ 経管栄養 ④ 導尿 ⑤ 酸素管理 ⑥ 血糖値測定及び薬剤投与
 - ⑦ 医療的ケア児に必要な内服薬・外用薬・座薬の投与
 - ア 指示のある定時の投与
 - イ 頓服に関しては、主治医の指示により預かりを決定する
 - ⑧ その他区長が実施を認めたケア
- (5) 以下のケアについては実施することができません。
 - ① 緊急時以外の気管切開部の管理
 - ② 経管栄養注入ごとのチューブ挿入及び抜管時の再挿入。また、チューブ挿入が確認できない際のチューブ の入れ替え。
 - ③ バイタルサインの継続的な管理(モニター管理を含む。)
 - ④ 酸素管理中の酸素流量の調整
 - ⑤ その他、審査会で実施ができないと判定したケア
- (6) 実施に当たっては、法に基づく所定の研修を終了した看護師がケアを行います。

医療的ケア意見書・医療的ケア指示書に関する留意点

- (1) 医療的ケア指示書に関しましてはできるだけ詳しくご記入ください。
- (2) 医療的ケア意見書・医療的ケア指示書を基に、必要に応じてご担当医様と面接させていただき、直接お話を伺うことがあります。
- (3) 本児の医療的ケアの実施にあたり、必要な指導、相談に応じていただけますようお願いします。

医療的ケア意見書

児童氏名	男・女	生年月日	年	月	日
病名・障害名・状態像					
1 症状、今後の見通しなどについて					
2 本児が保育施設で集団生活をすること	について				
□本児が集団生活をすることは望ましい					
理由					
理由					
□本児が集団生活をすることは望ましくな	Į ١				
理由					
*本児が集団生活を送るうえで①~⑩の項	目についてお答え	ください。			
①健康状態についての配慮:□必要 □		_	□必要 □不要	į	
②食事についての制限や配慮:□必要	□不要 ⑦感覚異	常:□あり □なし			
③排泄についての配慮:□必要 □不要	®コミュ	ニケーション:□と	れる 口苦	手	
④睡眠についての配慮:□必要 □不要	9言葉の	遅れ:□あり □な	L		
⑤運動についての制限や配慮:□必要	□不要 ⑩その他	は特記すべき配慮:□	あり 口なし		
①~⑩についての具体的な内容、またに	はその他配慮が必要	要な項目があればご記	己入ください	0	
3 実施している医療的ケア					
□鼻口からの吸引 □気管カニューレか	らの吸引 口薬液	の吸入 □導尿			
□栄養剤等の注入(□胃管 □胃ろう □	□ED チューブ) □	〕酸素管理			
□血糖値測定および薬剤投与 □その他	()			

医療的ケア指示書

() 児	^{ふりがな)} 見童名	男・女 生年月日 年 月 日				
100	诊断名					
現病歴及び現在の 治療の状況						
与薬	薬の状況					
受診の状況		科(回/月) 訓練の 科(回/月) 状況 科(回/月) 状況				
実施する項目		□ 喀痰吸引 □ 吸入 □ 酸素管理 □経管栄養 □導尿 □ 血糖値測定および薬剤投与 □ その他()				
◆具体Ⅰ	的な指示内容	:(該当項目欄にチェック又は詳細をご記入ください。)				
喀痰吸引(気管切開部の管理含む)	かな指示内容(該当項目欄にチェック又は詳細をご記入ください。)					
吸入	吸入時間(吸入薬液内 注意点など	容/量 (ml) (ml)				
酸素管理	酸素流量(注意点など) L/分 酸素の使用時間 □一日を通して □睡眠時のみ				

	種類 □鼻腔留置チューブ サイズ () Fr. 挿入の長さ () cm □胃瘻 □腸瘻
経管栄養	チューブ の種類 () サイズ () Fr. 挿入の長さ () cm バルンの水の量 () ml 抜去時の対応・注意点など ()
	栄養剤等注入
	栄養剤等の種類() 実施時間(:)(:) 1回注入量(ml)注入時間(分~ 分) 胃残量による指示(ml以上 ml未満)の時に
	→□予定量を注入 □ () 胃残の色が(□褐色 □黄色 □緑色)の時は、() その他、胃残の性状に異常がある場合の対応 () 水分注入
	水分の種類 () 実施時間 (:) (:) 1 回注入量 (ml)注入時間 (分~ 分) 胃残量による指示 (ml 以上 ml 未満)の時に
	→□予定量を注入 □ () 胃残の色が(□褐色 □黄色 □緑色)の時は() その他、胃残の性状に異常がある場合の対応
	薬剤注入 実施時間(:) 注意点など() 胃からの脱気 ()
	脱気のタイミング □注入前 □注入中 □注入後 □その他 () 注意点など [
導 尿	実施時間(:)(:)(:) カテーテルの種類() サイズ() Fr. 挿入の長さ() cm 用手圧迫 □可 □不可 注意点など ()
血糖値測定及び薬剤投与	<血液感染症検査の結果> 検査日: 年 月 日 HBs 抗原() HBs 抗体() HCV 抗体()) HBe 抗原() ※HBs 抗原陽性の場合検査を実施する
	< インスリン等 投与の方法> □ペン型簡易注射器 □ インスリンポンプ ◆ 使用機器等
	・インスリンにかかわる機器名 ()・血糖値測定器・穿刺器具 ()◆ 薬剤名(商品名) ベースインスリン:
	ボーラスインスリン: その他 (グルカゴン等) () <保育園で行う「血糖値測定及びその後の処置」についての指示>
	 ◆ 食事に関する指示 1保育園での食事の提供 朝おやつ(0・1・2歳児クラスのみ)□制限なし □おかわりなし □その他() 昼食 □制限なし □おかわりなし □その他() 午後おやつ □制限なし □おかわりなし □その他()

		の血糖値測定について					
	□自己測定 □CGM・FGM						
	(1)測定時間 ボーラスを実施する回を ▽ してください						
	□朝おやつ □昼食 □午後おやつ その他()) (2) 測字後の加累						
	(2) 測定後の処置 ア標準値時の対応						
血		置方法)				
血糖値測定及び薬剤投与	, _ ,						
測定	イ低	血糖時の対応					
及	処	置方法 (
薬			J				
】 料		血糖時の対応					
与	WE!	置方法					
			J				
	(3)	条件による測定について(摂取量による血糖測定等指示を記入してください)					
	処	置方法()				
その	□医療的	ケアの内容					
他							
の医療的ケア	□ケアを行う上での注意点						
療的							
ケ	口出江	分本ナファ L					
ア	口生活上	注意すること					
	L						
◆緊急	寺の対応						
応急処置	置や						
対応なる							
1/22/1							
搬送手段など							
搬达手具	気など						
年	三 月	日 医療機関					
		主治医					